

第3回幹部会開催される

去る平成25年9月30日に土地家屋調査士会館4階会議室において、平成25年度全国土地家屋調査士政治連盟（以下「本連盟」といいます。）第3回幹部会が開催されました。出席者は、横山一夫会長、八瀬渉一・加古幸平・市川新太郎・森廣幸・阿部重雄各副会長、小沢宏幹事長、椎名勤・神寶敏夫・高野國範・永美一雄・野田清・池川晋一郎・松田圭市・大場英彦・佐々木健・瀧秀隆各副幹事長でありました。

冒頭、横山会長は来る7月4日告示、同月21日投票となる第23回参議院議員通常選挙の御礼及び状況についてのお話しをされました。

さらに、日本土地家屋調査士会連合会（以下「連合会」といいます。）菅原副会長から御挨拶をいただき、この御挨拶の中で連合会についてお話しいただきました。

この後、報告事項から協議事項に移り各種議論を行いました。
報告事項及び協議事項につきましては、以下のとおりです。

全国土地家屋調査士政治連盟 第3回幹部会 議事録

日 時 平成25年9月30日(火)午後1時00分~同4時45分

場 所 土地家屋調査士会館 会議室

出席者 横山会長

八瀬・加古・市川・森・阿部各副会長

小沢幹事長 椎名・神寶・高野・永美・野田・池川・松田・大場・佐々木・

瀧各副幹事長

菅原連合会副会長

挨拶

1. 横山会長挨拶

先の参議院選挙におきましては、色々と奔走いただきありがとうございました。残念ながら自由民主党及び民主党における全国土地家屋調査士政治連盟(以下、本議事録において「本連盟」という。)の推薦する候補者におきましては次点等の残念な結果となってしまいましたが、千葉県選挙区で出馬されました土地家屋調査士といたしまして初めての国会議員となる豊田俊郎先生が、3人選挙区の中第2位というご立派な成績でご当選されました。今後は、土地家屋調査士制度の発展のため、頑張ってくださいと思います。

本日は短い時間となりますが、中身の濃い会議となればと思います。よろしくお願い申し上げます。

2. 菅原連合会副会長挨拶

ご紹介いただきました連合会副会長の菅原でございます。先日もお話しさせていただきましたとおり、本連盟の皆様とは今後とも一緒になって行かなくてはと思っておりますので、今後ともご協力お願いしたいと存じます。

報告事項

1. 政治家パーティ等出席状況の確認

小沢幹事長から、標記出席状況について別紙（略）のとおり説明がなされた。この結果問題ないものとして確認がなされた。

2. 第23回参議院議員通常選挙推薦状況の確認

小沢幹事長から、第23回参議院議員通常選挙推薦状況について別紙（略）の通り説明がなされた。これにつき、横山会長より今後の対応については、一人区については原則1人推薦とし、臨機に対応していかなければならない。この旨については、来期の全国会長会議でも説明していかななくてはならない旨説明があった。

なお、千葉選挙区から出馬された千葉県土地家屋調査士会所属の豊田俊郎会員が第2位（3人区）の成績で当選されたことにつき、椎名幹事長代理（千葉県土地家屋調査士政治連盟会長）より御礼の挨拶がなされた。

3. 各委員会の事業執行の確認

(ア) 総務委員会

前総務委員会から現在まで委員会を開催していないため、報告すべき事項はない旨、市川総務委員長から報告がなされた。

(イ) 制度対策委員会

前制度対策委員会から現在まで委員会を開催していないため、報告すべき事項はない旨、阿部制度対策委員長から報告がなされた。

(ロ) 組織強化委員会

組織強化委員会を本日行った。詳細については、協議事項中にて説明する旨、森組織強化委員長から報告がなされた。

(ハ) その他

その他の内容として、八瀬副会長から来年度から開催される会長会議における旅費等の対応について提案がなされた。この案件については、予算との関係を詳細に調べる必要があるので、小沢幹事長において詳細を調査した上、幹部会に諮るものとした。

4. 平成25年度第1回三者会議の内容の確認

平成25年8月7日に標記平成25年度第1回三者会議が開催された旨報告がなされた。この内容については別紙(略)の議事録のとおりである旨が追加報告であった。

協議事項

1. 第2回幹部会における確定事案である各委員会協議事項事業経過について

(ア) 総務委員会協議内容の件

規約等の見直しについての件

市川委員長から、全国土地家屋調査士政治連盟規約の一部改正について、前幹部会で提案させていただいた会長会議に係るものの追加条文に関し、次期大会に提案したい旨説明がされた

大会における議事運営の規則の件

市川委員長から、大会議事運営規則について、前幹部会で提案させていただいたものを今一度勘案したうえ、大会に提案したい旨説明がされた。

これに対し以下の意見の交換がなされた。

横山会長 の内容でいくと会長会議のみであるが、場合によっては幹事長会議にも発展していくようにすることではなかったか。

大場副幹事長 委員会としては、先ず、規約上に規定がない会長会議を行うことで起案させていただいた。会長会議を実施した上で、必要があれば幹事長も検討する事としたい、とさせていただいた。この旨で了解願いたい。

横山会長 了解した。

この結果、全国土地家屋調査士政治連盟規則の改正(案)及び大会における議事運営の規則については、総務委員会提案どおり大会に諮ることとした。

(イ) 制度対策委員会協議内容の件

議員連盟との勉強会の開催並びに地方議員への制度PRの件

阿部委員長から、議員連盟との勉強会については、連合会との連携の上、政策要望等が決定した段階で行うべきである旨説明がされ、現段階でその時期かどうかを確認しているところである旨説明がされた。地方議員への制度PRについては、各地域に行って貰う旨の提言を行うことを検討している旨説明がなされた。これには、昨年の決定内容を活用しブロック会議の中説明を行いたいことが付け加えられた。

土地家屋調査士の日額規定の件

阿部委員長から、日額規定を定める手続には、色々問題もあるものと考えるが、連合会と連携を行い政治連盟の行えることを着実にやっていきたい旨報告及び説明があった。

住民基本台帳法施行令の改正の件

阿部委員長から、先の三者会議の中で愛知県土地家屋調査士会から連合会宛要望書の正式提出はないが、提案はなされていることが確認された。このため今後政治連盟としての動向をはっきりすべく連合会に対し運動をすべきであるとの報告がなされた。

登記事務の地方移管の反対決議の推進の件

最後の都道府県内決議がなされて久しい。現在この問題がとぎれたものではないことは、各報道からも明らかである。今後も本案件について奨めていくよう幹部の意思を統一した上、各单位調政連に向け説明を行いたい旨報告がなされた。

これに対し以下の意見の交換がなされた。

横山会長 については、愛知県土地家屋調査士会（以下「愛知会」という。）から連合会に対しどのようなアクションがあったのか、また、連合会から愛知会へどのような返答があったのか理解していない。今後は、連合会がどのような動向を示すかによって対応が変わるものとする。

椎名幹事長代理 については、重要案件であるならば提出文章云々に限らず奨めるべきであると考ええる。

阿部副会長 連合会は、正式な文章が廻らないと機能しないか。

菅原連合会副会長 そのようなことはないつもりでいる。本日の要望については、連合会にも取り上げたいと考えている。

椎名幹事長代理 については、低廉化することによる国民への弊害があるかどうかのデータを集めなければならないと考える。本案については連合会においてデータを集めることとなるが、まずは連合会において取り上げることができるかどうかの問題になると思う。連合会としてもこれのみに取り組んでいるわけではなく種々の問題に取り組んでいる状態である。

神寶副幹事長 について関連することであるが、不動産登記法第14条第1項の地図作成の単価等について法務省側から発出することができないのであればこれを政治に関係づけて行うことにより、勧めることが可能ではないか。たとえば、法務委員会等で「どのような単価に基づき本作業の積算をしているのか。」等質問していただければ出る可能性があるものとする。

また、不動産の表示に関する登記については、本来国が行わなければならないものであることを考慮すれば、理屈等の必要性がないものと主張できるのではないか。このように、一方からのみの議論ではなく多方からの議論を法務省に対し連合会から行ってはどうか。

菅原連合会副会長 現在この場で本職のみで対応することはできかねるが、先程申し上げさせていただいたとおり連合会に持ち帰り議論したいと考える。

この結果、 の案に関しては、各ブロック会議の中説明していくこととし、 については菅原連合会副会長に連合会会議に持ち帰っていただき、連合会の動向を確認のうえ進めることとした。

(9) 組織強化委員会

別紙（略）のとおりアンケートを実施した。アンケート結果については、このとおりである。この結果については、組織強化委員長名において各単位調政連にメールを持って送付したいと考えている。

これに対し以下のとおり意見が取り交わされた。

- 横山会長 アンケートを採った結果において種々問題点が見受けられるものと考えが、今後どのような対策を考えているか。
- 森委員長 現段階では、対策等について大まかな考えのみにとどまっているが、来期の会長会議までには具体的な対策等を打ち立てていきたいと考えている。
- 神寶副幹事長 登記事務の地方移管の反対意見の推進の意見書の提出に関する部分について「審議中」をも含め26単位会であるとすれば、過半数を超えるものとなるがこれは正しい数値であるか。
- 小沢幹事長 当職には、今現在の段階で横浜市をも含め19地区のみの報告しかない。「意見書提出」の決議まではいっていないのではないか。

この結果、組織強化委員長名においてにアンケートを各单位調政連にメールをもって事務局から送付することとした。

2. 平成 25 年度大会及び会長会議について

(ア) 大会及び会長会議予算（案）の件

標記（案）について、大会及び会長会議における各交通費の配布について別紙（略）のとおり行いたい旨、小沢幹事長から説明がなされた。

(イ) 大会及び会長会議役員交通費（案）の件

現行どおり行いたい旨、小沢幹事長から説明がなされた。

この結果、修正する箇所もあるので、(ア)に関し一部修正し次期幹部会に再提案することとした。

3. その他について

(ア) ブロック協議会の開催について

ブロック協議会の開催日及び開催地については別紙（略）のとおりである旨、小沢幹事長から説明がな

された。なお、各ブロックにおける説明責任者は以下のとおりである旨をも説明がなされた。

各ブロック出席者

北海道ブロック	小沢幹事長
東北ブロック	八瀬副会長
関東ブロック	阿部副会長
中部ブロック	加古副会長
近畿ブロック	森副会長
中国・四国ブロック	椎名幹事長代理
九州ブロック	市川副会長

この結果、原案どおり進めることとし、資料については各委員長から事務局に送付し、このデータを各単位調政連にメールにて送付することとした。

また、各ブロックに対し補助金を配布しているが、これについては特別な事情がない限り担当副幹事長の所属する単位調政連宛送金することとした。

(イ) 次期幹部会の日程について

平成 25 年 12 月 20 日(金) 13 時 30 分～ 17 時 00 分(予定)

(ウ) 次期常任幹部会の日程について

平成 25 年 11 月 11 日(月) 13 時 30 分～ 16 時 30 分(予定)

以上の議論を行い、午後 4 時 45 分に終了した。